

CSR 基本方針

タカラレーベングループは、企業ビジョンである「幸せを考える。幸せをつくる。」を実現するとともに、住宅の供給や自然エネルギーの導入など、事業を通じたCSR活動に取り組むことで社会課題の解決とSDGs（持続可能な開発目標）達成に貢献し、さまざまなステークホルダーや社会からの信頼を得て、持続的な発展を目指します。

CSR 推進体制

当社グループでは、CSR活動をグループ会社全体の企業価値向上に結び付けていくため、各社横断の推進体制を構築するとともに、適宜経営会議にて決議・報告を行うことで、経営・事業活動と一体になった縦断的な推進体制を構築しています。

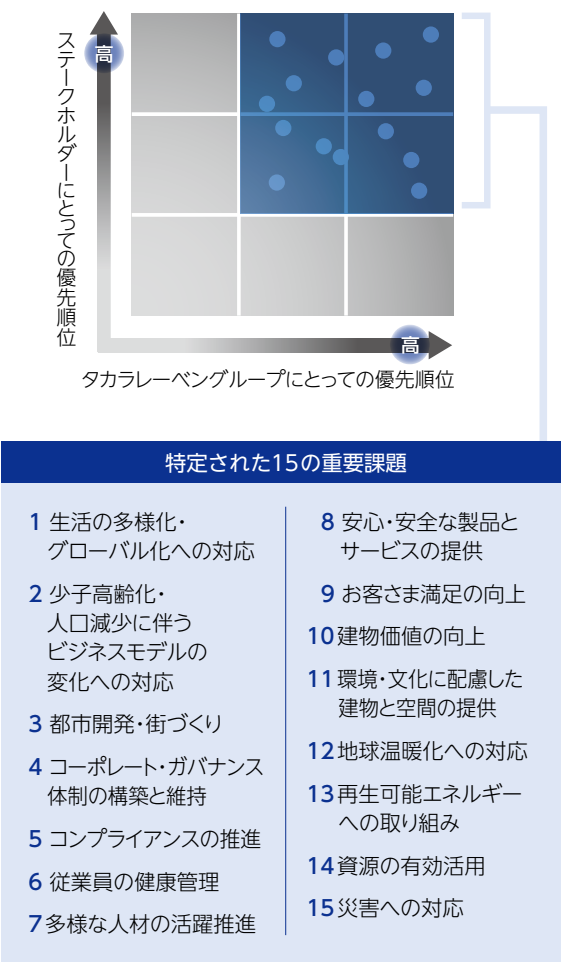
また、グループ会社各社役員・CSR担当者に向けた研修を開催しており、加えて、実務担当者への共有やディスカッションの機会も検討しています。

今後、従業員が当事者意識を持ち、取り組むことのできる環境づくりを進めることで新しい価値を創造し、また、重点課題の再認識をすることでさらなる活動強化に努めていきます。

CSR 重要テーマおよび重要課題特定のプロセス

当社グループでは、以下のステップを経て、CSR重要テーマおよび重要課題を特定しました。

STEP1	社会課題の把握と整理
	GRI、SDGs（持続可能な開発目標）、SASBなどの国際的ガイドラインやお客さま、株主・投資家、地域社会、従業員などステークホルダーからの要請事項や経営理念、中期経営計画などを元に事業環境をとり巻く31項目の課題を抽出しました。
STEP2	タカラレーベングループの視点から重要性を評価
	管理職や役員を含む従業員へのアンケート調査、経営理念や事業との関連性を整理し優先順位付けを行いました。
STEP3	ステークホルダーの視点から重要性を評価
	お客さま、株主・投資家、取引先のアンケート調査、GRI、SDGsなど国際的ガイドラインからの要請事項を整理し優先順位付けを行いました。
STEP4	重要課題の特定
	タカラレーベングループとステークホルダーの視点で優先順位を再検討し、経営者レビューを実施したのち重要課題を特定しました。
STEP5	CSR重要テーマの方針設定
	4つのCSR重要テーマについて、方針設定を行いました。



CSR 重要テーマ	重要課題	関連するSDGs	方針
1 価値あるライフスタイルの創造	●生活の多様化・グローバル化への対応 ●少子高齢化・人口減少に伴うビジネスモデルの変化への対応	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを	●社会課題やニーズの変化に対応した商品・サービスの提供。 ●「LEBEN」「NEBEL」ブランドなど、居住者と周辺環境の調和したライフスタイルの提供。
2 コミュニティの形成	●都市開発・街づくり ●コーポレート・ガバナンス体制の構築と維持 ●コンプライアンスの推進 ●従業員の健康管理 ●多様な人材の活躍推進	3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を促進しよう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう	●地方都市再生事業を通じた都市部と地方をつなぐ地方活性化への貢献。 ●リスク評価・管理の徹底によるリスク対応能力の向上。 ●多様な人材が生き生きと働ける機会・環境の提供。 ●ステークホルダーとの対話を重視した、社会ニーズに応える企業活動。
3 高品質で快適な空間の提供	●安心・安全な製品とサービスの提供 ●お客さま満足度の向上 ●建物価値の向上	3 すべての人に健康と福祉を 6 安全な水とトイレを世界中に 12 つくる責任、つかう責任	●独自サービス品質管理システム（SQMS [®] ）活用によるお客さま満足度の向上。 ●住まいに必要な性能を追求した、デザイン性と居住性を兼ね備えた住まいづくり。 ●建物の快適性・機能性・安全性を向上させる定期修繕やリノベーションを通じた建物価値の向上。
4 環境・文化の醸成	●環境・文化に配慮した建物と空間の提供 ●地球温暖化への対応 ●再生可能エネルギーへの取り組み ●資源の有効活用 ●災害への対応	4 質の高い教育をみんなに 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう	●再生可能エネルギー発電事業や環境性能の高い住宅供給を通じた温室効果ガス排出の削減。 ●耐震性・防火性を備えた自然災害に強い住宅の提供。 ●ステークホルダーへの文化的活動の機会提供。

CSR 担当役員のメッセージ

タカラレーベングループでは、「幸せを考える。幸せをつくる。」を企業ビジョンとしています。その実現のためにも、CSRへの取り組みは重要であると考えています。当社グループの経営層だけではなく、社内外のステークホルダーとの対話を通して、重点的に取り組む課題を的確に把握し、経営の優先順位付けを行うことが重要と考え、この度、社会課題の把握と整理を行い、当社グループ視点からの評価に加えステークホルダーの視点からも重要性を評価いただき、各々の視点において優先順位を検討し、15の重要課題を特定しました。この15の重要課題解決に注力し、サステナブルな企業集団を構築していくことが、今後の企業価値向上につながるものと認識し、中期経営計画の主要テーマとして掲げているESG対応をスピード感を持って進めてまいります。

今後も、企業の社会的責任を常に意識した企業経営により経営の質を高め、企業価値の持続的な向上に取り組んでまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役 総合企画本部長
山本 昌